

# 設計から学習へ：かわりゆく人工知能ソフトウェア

山川 宏<sup>1</sup>

## 講演概要

伝統的には、ソフトウェアはすべて人間の手で設計されコーディングされていた。しかし近年の人工知能では、ソフトウェアを形作る知識の多くの部分がデータからの学習で獲得され、人間が担うのはその獲得のための枠組を設計すること、つまり機械学習の研究開発が中心となってきた。機械学習を用いることで、時に設計者の理解を超えた知識まで人工知能が獲得しうるが、それは同時に人間に理解できないブラックボックスを作ることでもある。今回、知的なソフトウェアに作り込まれる知識が、設計から学習に置き換えられることで、様々なステークホルダー（開発者、利用者など）に与える影響などを軸として講演を行う。

---

<sup>1</sup> ドワンゴ 人工知能研究所所長、全脳アーキテクチャ・イニシアティブ代表